

じゃりみち



……仮設支援情報……

第11号

発行日 1996. 2. 1

阪神大震災地元NGO救援連絡会議

仮設住宅支援連絡会

TEL: 078-362-5951 / FAX: 078-362-5957

E-mail: ngoteam@mb.osaka.inetweb.or.jp

口座番号: 01180-6-68556 (郵便振替)

全体会のお知らせ

はやくも2月に突入してしまいましたがいかがお過ごしですか? 次回全体会のお知らせです。

2月14日(水) 18:00~20:00 (場所は未定)。

「かせつ寺子屋」の報告

今回の寺子屋の講師はア・ア保健研修所(AHI)事務局長の池住氏。1980年以来15年間ア・アの草の根リーカを通してア・アに対する「自立支援」を行っている。また震災後はSHAREと「保健所支援ネットワーク」というプロジェクトを行っている(2月まで)。それらを通して「自立支援」とは、「自立」とは何かを話していただいた。

最初から私たちへの問いかけから始まる。「なぜ自立が必要なのか・・・?」私たちは自立とはどういうものなのかということから、「自分で決める」「自分で生活する」という「権利」を行使するために「必要である」という確認をする。すると次は「なぜ人に依存してはいけないのか?」という問いかけ。これに関しては「主従の関係を導きやすい」とことや前者の「自己決定権」を行使できないからという意見が出された。これらの確認ができたあと、池住氏に自立支援とは「地域の人々の自立が可能になるための、(自分たちで自分たちの権利を行使することが可能になるための) 枠・トではないか」ということを体験談を通して提示された。そして自立とは3者の「共働・共生」であり、その3者とは「住民」・「行政」・そして「民間NGO」である。私たちはその中の「NGO」であり、非政府組織という「非」ということばで、立場を明確に政府とは違うということを示している。そういったことから私たちには行政のやることにに対して常にチェックしていく責任を持っており、いわゆる政策提言をしていく立場にあるのではないだろうかということも投げかけられた。

では具体的にどう動いていくのかということでは、まず状況によって自立は異なるもの。すべてを同じに考えるべきではないということ。また関わっている状況を理解し、そこから社会・制度をどう起こしていくのか考えていくこと。仮設住宅でいえば、これから長期化していくにあたって想定される困難に立ち向かうことのできるような環境と、それらを政策提言をしながら枠・トしていくことが必要になってくるのではないだろうかといったことが話された。

以上、今回の寺子屋は今後の連絡会の方向性を探るためのとてもいいきっかけになるものだった。

情報交換会の報告

今年から全体会を月1回にし、開いた週を情報交換会にすることになったのですが、前回の全体会の「今後について」の話し合いを受けて、引き続き今後の活動についての話し合いになりました。

まず今後の連絡会の方向性は現場がどう動いていくかということと平行して考えていかなければならないという意見が出されました。そういった中で連絡会としてやることとして「活動・連携・提言」という3つのキーワードが出てきました。これから出てくる仮設住宅から出ていく人・残る人といったような問題の中での「活動」、またそういった活動の中でのボランティア同士の「連携」、そして住民の自立・復興のための「提言」。他にも主役である被災者が見えてくる活動にしていかなければ、といったようなことや仮設住宅だけを見ていいものか?といったようなことも出てきました。

次回は具体的な内容と平行して体制を話し合っていくために、たたき台を元に話し合うことになりました。たくさんの参加、お待ちしております!

事務局から

「じゃりみち」は自動送信でFAXしておりますので、深夜に届くこともあります。不都合でしたらご連絡下さい。また郵送している方の中でFAXのある方はお知らせ下さい。

ボランティアの募集を事務局で受け付けております。人手不足でお困りの団体はありませんか? また「物資で何か欲しいものがありますか?」という問い合わせがよくきます。何か物資で不足しているものはありませんか? 各団体のイベント情報等、載せたいものがあれば、じゃりみちに載せます。

以上、事務局までご連絡下さい。

……仮設支援情報……

< 仮設は今... >

西区編

<ふれあい喫茶>

西神ニュータウンの中の西神第7住宅には、東と西の2つのふれあいセンターがあります。私たちボランティアは西ふれあいセンターの1室に事務所を置き、支援活動を行っています。以前はセンターがあっても住民が入りにくかったようで、センターとして機能していませんでした。その問題点を解決するために「ふれあい喫茶」を開くことになりました。

1月10日に開店したのですが経過は予想を上回って順調です。10:00から15:00の営業で、1日平均50人の客数があります。人が集まることによって賑やさが生まれ、テーブルを同じくしてコーヒーを飲むことによって知らない人との会話が生まれています。常連の方はBGMにとご自慢のテープを持ってきてくれたり、お菓子をみんなに分けてくれたり、また、人手が足りないほどに忙しくしているときには手伝ってくれたり、住民とボランティアと一緒に運営していると言っても過言ではありません。

また、その他の課題としては「閉じこもり」の人を呼び出す方法を訪問活動とからめながら話合っています。大盛況のふれあい喫茶に一度お越し下さい。

問い合わせ：078-961-2100 (担当 鎌田)

文責：ふれあいテト

がしきは走る (全国キャラバン日程)

2/1~5	北海道	(村井)	() = 講師
2/7	宝塚市	(村井・石井)	
2/10~11	秋田県	(市川)	
2/16	名古屋	(石井)・神奈川	(村井)
2/12~17	山形鶴岡	(村井)	
2/20	名古屋	(石井)	
2/24	静岡県	(村井)	
3/1~4	石垣	(石井)	
3/16	台東区	(村井)	

♥心の郵便局の報告♥

12月中旬に始めた心の郵便局ですが、2月1日現在2,019枚送られてきました。ただ季節ものや無地の葉書も含まれているので配った数はもう少し少なくなります。年始に数団体のボランティアに配っていただきましたが非常に喜んで下さったとのこと。連絡会の方には3通返事が来ました。ぼちぼち反応が返ってきています。もし直接返事が来た場合はいろいろと参考にしたいので連絡会までご連絡下さい。今後も数が整った時点で随時配ってもらう予定です。

★節分イベント

イベントコーナー

2月3日(土) 14:00~ 東灘区各ふれあいセンター

★茶話やかフェス (10:00~12:00 移動集会所)

2月 5日(月) 東灘区磯島公園仮設住宅

15日(木) " 北青木公園仮設住宅

20日(火) " 浜公園地域型仮設住宅

29日(木) " 御影公園仮設住宅

★ふれあいサロン (14:00~16:00)

2月 15日(木) 川島クリニック・田中医院

20日(火) 河原医院

22日(木) 高地クリニック

☞以上問い合わせ：東灘・地域助け合いネットワーク

TEL 078-843-4029

◆新春ミニコンサート(デュエット)とお茶のひととき

2月 21日(水) 13:00~15:30

室谷第2仮設住宅ふれあいセンターにて

☞問い合わせ：JOCs TEL06-359-7277 (大川)

♣週末ボラ (13:00~17:30)

2月 3日(土) 西区西神第2仮設住宅

10日(土) 春日台・17日(土) 榎野台

☞問い合わせ：週末ボラ

TEL078-795-6409 (東條)

じゃりの一口めも

肩こり・不眠・風邪に効く？

ハーブのお茶

ハーブには、血を浄化したり、胃腸、肝臓、腎臓などを健やかにしたり、疲労回復、ストレス解消にも効果があります。カップ1杯にティーバッグ1~2杯入れ、新鮮な沸かし立てのお湯を入れます。煎じてハーブのエキスを抽出すると、より効果的！

おなみに価格は、乾燥ハーブなら20gで200円~500円位です。

効用は・・・

がらみ (青りんごの香り)・・・風邪、喉、不眠の解消

リベンジ (西洋菩提樹)・・・日和見感染症

ミト・・・肩こり、頭痛、胃もたれ、倦怠感

いす・・・リフレッシュ効果

